

袋井関連人物参考資料目録(1)

～鳥居信平、鳥居鉄也関連資料目録～

The Bibliography of Persons related to Fukuroi city ; vol.1

小栗 勝也*

Katsuya OGURI

1. はじめに

2009 年は袋井市にとって新しい国際交流の芽が生まれた年であった。袋井出身の鳥居信平がそれをもたらした。彼は戦前に台湾製糖で勤務していた水利技師で、台湾・屏東県に地下ダム「二峰圳」(にほうしゅう)を建設したことで、今も現地ではよく知られている人物である。環境に優しいダムとして台湾人研究者がこれを研究し続けていることと、今もダムが機能し続けており、現地の人々から感謝されている為である。

ところが彼の郷里である袋井では、そのことは、つい最近までまったく知られていなかった。信平の息子である鳥居鉄也のことは南極観測越冬隊長を務めた人物として地元ではよく知られており、袋井図書館で紹介展が開かれたこともある。しかし信平のことは、誰も注目する人がいなかった。地元でも、日本全体でも、である。息子の鉄也自身でさえ、父が台湾でどのような仕事をしてきたかを知らなかったというから、止むを得ないことではある。

そのような中であって、鳥居信平の存在をクローズアップして紹介したのは、フリージャーナリストの平野久美子女史である。既に台湾に関する著作を何冊も著している平野氏が、台湾で取材中に鳥居信平のことを知り、彼のことを調べ始めた。調査は信平の生まれ故郷である袋井市にも及んでいる。それらの調査結果をまとめて発表したのが、月刊雑誌『諸君！』2008年3月号に平野氏が書いた「感動秘話/日本・台湾＝『水』の絆の物語/水利技師・鳥居信平の知られざる業績」であった。筆者もこの文書をたまたま誌上で見て、初めて鳥居信平の存在を知った。平野氏はその後も、『正論』2009年2月号、『SAPIO』2009年5月27日・6月4日合併号に信平を紹介する文書を発表した。いずれも全国誌であり、平野氏の文筆活動のおかげで、鳥居信平のことが袋井市のみならず日本中に知られることとなった。さらに、それらをまとめた信平の伝記『水の奇跡を呼んだ男』(平野久美子著)が発行されたのも2009年のことである。台湾でも中国語版が発刊さ

れた。

また、台湾の実業家・許文龍氏も信平の業績に感心し、それを顕彰する意味で、自らの手で信平の胸像を2体作製した。1つは屏東県に、いま1つは袋井市に寄贈された。袋井市にそれが届いたのが、やはり2009年である。市ではこれを台座に据え付け、同年7月に袋井市の「月見の里学遊館」敷地内に設置し、除幕式を盛大に行った。式典で挨拶をした平野久美子氏は、地下ダムのお陰で台湾人と日本人との間の絆が今なお続いている、その「奇跡」は信平がもたらしたものだが、今日ここに除幕式を祝うために台湾から、また袋井市内及び市外から沢山の人々が集まって来られたのは、もう1つの「奇跡」だと思います、それは皆さんが作った奇跡です、という主旨の発言をされたことが強く筆者の印象に残っている。

この時、序幕式に台湾の関係者を袋井に招いたことと、さらに同年11月に市長をはじめとする袋井市からの市民訪問団100名以上が富士山静岡空港からチャーター便で初めて台湾を訪れ、地下ダムの視察を行ったことで、袋井と台湾との間に新しい国際交流が芽生えたわけである。

なお、原田英之袋井市長は、『広報ふくろい』2009年9月1日号に寄せた文章の中で、東京で行われた同級生の集まりの席で互いが地元の自慢話をはじめた際に、市長は3人の「偉人」を取り上げ、川村驥山、鳥居信平、浅羽佐喜太郎を紹介した、と述べている。このうち鳥居信平は、一番最近になって、地元の偉人の仲間入りをしたことになる。

以上のような動きについては、新袋井フォーラム(民間有志の団体)の事務局長兼地域情報部会長である筆者も無関心ではいられないので、気が付いた時には参考になりそうな資料を逐次手元に残していた。鳥居信平だけでなく、袋井にゆかりのある他の人物に関する情報についても同様である。

ここに掲載する目録は、これまで筆者が個人的に集めてきた情報を備忘録程度のものでまとめていたものを土台にして、さらに改めて調査した情報を追加して一覧にしたものである。某る人に見せたところ、このようなリストは図書館にも

2010年3月5日受理

* 総合情報学部人間情報デザイン学科 兼 理工学部情報システム学科

ないので、これを利用したいと思う人は他にもあるだろうから公にする価値はある、と言われた。意を強くして掲載することにした次第である。しかし、今回は鳥居信平とその息子鉄也の2名だけに限定した。紙数の都合による。その他の人物に関する情報は(2)として次回に回したい。

ただ、もともと意識的に集めようとして集めた訳ではなく、長い時間のうちに自然に集まってきた資料が土台であるから、100%完全な目録とは言えない。今回、まとめ直すに当たっては、

筆者が実見していない資料(多数有)であっても関連しそうな資料はWEB等を使って極力探し、目録としての精度を高めるべく努力はした。しかし、それでも遺漏や誤認等はあるかもしれない。利用する方には予め御寛恕を願う次第である。

同時に、本目録に未掲載の資料等をご存知の方、また目録記載情報のミス等にお気づきの場合は、是非とも筆者にお知らせ頂ければ幸いである。なお資料は原則として発行の古い順に並べてあり、不明箇所は空白のままにしている。

2. 鳥居信平関連資料 (とりいのぶへい 1883—1946)

※備考中の「鳥居有」は、鳥居に関する言及、紹介、または鳥居の文字が当該資料に含まれていることを示す。鳥居信平、鳥居鉄也共に同じ。

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社/発行元	発行年月日	掲載頁/備考
1	「製糖事業が台湾に興るまで」	(記載なし)	『中外商業新報』	中外商業新報社	大正12年4月5日	二峰圳・有/神戸大学図書館・新聞記事文庫(WEB公開資料)
2	「台湾糖業政策の新傾向」	(記載なし)	『国民新聞』	国民新聞社	大正12年7月25日	二峰圳・有/同上
3	「経済予備知識/◇砂糖(十三)/台湾製糖株式会社」	(記載なし)	『国民新聞』	国民新聞社	大正13年11月20日	二峰圳・有/同上
4	「北部糖業の一転機(四)」	(記載なし)	『台湾日日新報』	台湾日々新報社	大正14年8月22日	鳥居有/同上
5	「台湾製糖の業績」	(記載なし)	『中外商業新報』	中外商業新報社	昭和2年12月23日	二峰圳・有/同上
6	「糖業界の制覇益々固き/台湾製糖株式会社」	(記載なし)	『中外商業新報』	中外商業新報社	昭和6年6月25日	二峰圳・有/同上
7	『伏流水利用に依る荒蕪地開拓～臺灣製糖株式會社萬隆農場創設並に其経過』	鳥居信平	—	(不明)	1935年	全18頁
8	『南方農業管見～計畫農業と水利問題』(東亞農業研究資料・第1輯)	中央農業協力會・編、鳥居信平・述	—	中央農業協力會	1942年	全22頁
9	「科学技術審議会/委員の顔触れ決る/民間五十五氏起用」	(記載なし)	『大阪朝日新聞』	株式会社朝日新聞社	昭和17年12月29日	鳥居有/神戸大図書館・新聞記事文庫
10	『故長谷川喜三郎氏遺稿集～山梨の史話～』	山梨町三育會編	—	山梨町三育會	昭和57年2月	73頁に鳥居有、鉄也も有/袋井図書館蔵書で確認
11	「レファレンス/台湾製糖業における『鳥居信平』氏」	村松隆代	『静岡県立中央図書館だより』No.296	静岡県立中央図書館・編集発行	平成17年5月・6月合併号	2頁
12	「感動秘話/日本・台湾＝「水」の絆の物語/水利技師・鳥居信平の知られざる業績」	平野久美子	『諸君!』	文芸春秋社	2008年3月号	188～197頁
13	「南台湾が語り継ぐ農業土木技師:鳥居信平/(コスモポリタン)」	平野久美子	『水土の知』第76巻4号	農業農村工学会誌	2008年4月	369～371頁
14	「地下ダム二峰圳を造った農業土木技師～台湾が今も語り継ぐ鳥居信平」	平野久美子	『土地改良』第46巻3号	土地改良建設協会	2008年7月	2～9頁
15	「郷土の誇り/(原田市長の散歩道)」	原田英之(袋井市長)	『広報ふくろい』	袋井市	2008年9月1日	20頁
16	「南台湾が語り継ぐ/農業土木技師・鳥居信平」	平野久美子	『会報台湾ズクラブ』第21号	台湾ズクラブ(静岡)	2008年10月21日	1～5頁
17	「父・鳥居信平を語る」	鳥居鉄也	『会報台湾ズクラブ』第21号	台湾ズクラブ(静岡)	2008年10月21日	6～7頁
18	「袋井市出身の偉大な水利技師・鳥居信平ものがたり」	(記載なし)	『広報ふくろい』	袋井市	平成21年1月15日	7頁
19	「台湾が愛した日本人…/今甦る『鳥居信平』伝説」	平野久美子	『正論』	産経新聞社	平成21年2月号	268～277頁
20	『台日水的牽絆・識水柔情・鳥居信平的故事』	平野久美子	—	屏東県政府文化処	2009年4月	No.43の平野氏のHP内の記事を参照
21	「あの国のどこかで—この国のどこかで・特別版—/第12回 86年前、台湾南部の荒野で/日本統治時代、日本と台湾を「水の絆」で結んだある日本人技師がいた」	平野久美子	『SAPIO』	小学館	2009年5月27日・6月4日合併号	76～79頁
22	『水の奇跡を呼んだ男～日本初の環境型ダムを台湾につくった鳥居信平～』	平野久美子	—	産経新聞出版(発売は日本工業新聞社)	平成21年6月5日	全234頁

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考
23	「(静岡の!? 記者が走る)/袋井の偉人鳥居信平/エコ先駆け『奇跡』のダム/再評価 台湾から胸像」	夏目貴史(袋井通信部)	『中日新聞』(静岡県版)	中日新聞社	2009年6月28日	第33面社会面
24	「80余年を経て 次代の緑化技術へ/日本人技師による「地下ダム」 新たな台日交流の予感」	(記載なし)	『台湾新聞』(東京発行/月刊新聞)	南臺灣新聞社	平成21年7月号	第1面
25	「鳥居信平氏胸像の除幕式/郷里の静岡県袋井市で開催」	(記載なし)	『台湾新聞』(東京発行/月刊新聞)	南臺灣新聞社	平成21年7月号	第4面
26	「日台つなぐ 環境ダム/技師の鳥居信平 たたえ 胸像あす序幕」	(記載なし)	『産経新聞』	産経新聞社	平成21年7月11日	第22面(静岡県版で確認)
27	「鳥居信平氏 胸像除幕式」(リーフレット)	袋井市	—	袋井市	平成21年7月12日	A3版用紙1枚の表裏に印刷したものを2つ折にしてA4サイズにした全4面の印刷物。
28	「『水使うたびに感謝』/鳥居信平胸像 袋井で除幕式/台湾と交流の“新芽”に」	夏目貴史(袋井通信部)	『中日新聞』(静岡県版)	中日新聞社	2009年7月13日	第24面社会面
29	「台湾で地下ダム建造/鳥居の功績しのぶ」	(記載なし)	『産経新聞』	産経新聞社	平成21年7月13日	第21面(静岡県版で確認)
30	(テレビ番組)「鳥居信平氏胸像序幕式/(街のビデオレポート)」「街のビデオレポート」は番組名】	—	「チャンネル・ウィンディ(浜松)」(チャンネル名)	ケーブル・ウィンディ(浜松のケーブルテレビ)	平成21年7月15日放映(但し小栗が確認したこの日時以外にも多数レポート放映されている)	約5分
31	(テレビ番組)「台湾南部を潤した日本人技師・鳥居信平」	(ゲスト解説・袖原正敬)	—	日本文化チャンネル桜(衛星放送)	平成21年7月15日放送	約26分
32	「台湾から鳥居信平の胸像/地下ダム建設の功績/(時評)」	志村史夫	『静岡新聞』(全県版)	静岡新聞社	平成21年8月11日	第5面
33	「日本統治時代、台湾と日本を水の絆で結んだ日本人が知らない「日本人」/『水の軌跡を呼んだ男』平野久美子著・産経新聞出版/「時代の肖像」(書聞倶楽部)」	評者・笹幸恵(ジャーナリスト)	『SAPIO』	小学館	2009年9月9日号	44頁
34	「(最近、面白い本読みましたか/著者インタビュー)/『水の奇跡を呼んだ男～日本発の環境型ダムを台湾につくった鳥居信平』/平野久美子さん」	(記載なし)	『クロワッサン』第33巻第18号	マガジンハウス	2009年9月25日	114～115頁
35	「地下ダム『二峰圳』が教えてくれたこと～台湾と袋井～」	平野久美子	『新袋井フォーラム会報』第17号	新袋井フォーラム	2009年10月1日	1～3頁
36	「鳥居信平の農業水利遺産・地下ダム二峰圳が結ぶ日台の絆」	平野久美子	『土地改良』第47巻4号	土地改良建設協会	2009年10月	2～4頁
37	「鳥居信平氏 胸像序幕式」	(記載なし)	『会報タイワンスクラブ』第22号	タイワンスクラブ(静岡)	2009年10月18日	7頁
38	「鳥居信平氏胸像除幕式に『自主参加』」	小栗勝也	『会報タイワンスクラブ』第22号	タイワンスクラブ(静岡)	2009年10月19日	8～10頁
39	「郷土人の偉業 台湾で実感/ダム建設に尽力・鳥居信平氏/袋井市長、市民ら現地交流」	栗田秀之【屏東県(台湾南部)】	『中日新聞』(静岡県版)	中日新聞社	2009年11月13日	第30面社会面
40	「訪台の様子 HP で公開/屏東県政府/袋井市長らダム視察」	(記載なし)	『中日新聞』(中・東遠版)	中日新聞社	平成21年11月14日	第15面
41	「台湾屏東県を訪ねて/(原田市長の散歩道)」	原田英之	『広報ふくろい』	袋井市	2009年12月1日	18頁
42	「水の奇跡を呼んだ男—鳥居信平氏の偉業を讀えて—」(パンフレット)	松本長平	(私家版パンフレット)	松本長平(袋井市大門3-5【パンフ表紙に以上の住所記載有])	(2010年1月)【注:年賀状の紹介があること、小栗が入手したのが2月初めであることから時期を推定】	全6頁
43	(WEB)「平野久美子—HIRANO KUMIKO—」(平野久美子氏自身のホームページ)	平野久美子	http://www.hilanoikumiko.jp/	—	(2010年1月小栗確認)	鳥居有
44	(WEB)「農学賞および日本農学賞受賞総覧」	日本農学会	http://www.ajass.jp/prize_1.html	—	(2010年1月小栗確認)	鳥居有

以上

3. 鳥居鉄也関連資料 (とりいてつや 1918—2008)

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社/発行元	発行年月日	掲載頁/備考
1	「乗鞍岳を中心とする地球化学的研究-1-」	鳥居鉄也・他	『温泉科学』第6巻第2号	日本温泉科学会	1954年10月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
2	「乗鞍岳を中心とする地球化学的研究-2-」	鳥居鉄也・他	『陸水学雑誌』第17巻第1号	日本陸水学会	1955年3月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
3	「オルソ・ニトロソレゾルシンモノメチルエーテルによる二価鉄の新比色定量法」	鳥居鉄也	『日本化学雑誌』第76巻第3号	日本化学会	1955年3月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
4	「オルソ・ニトロソレゾルシンモノメチルエーテルによるニッケル地金およびニッケル合金中のコバルトの定量法」	鳥居鉄也	『日本化学雑誌』第76巻第6号	日本化学会	1955年6月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
5	「鉱泉中のコバルトの分布について-1-」	鳥居鉄也	『日本化学雑誌』第76巻第6号	日本化学会	1955年6月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
6	「植物中のコバルトの分布について」	鳥居鉄也	『日本化学雑誌』第76巻第6号	日本化学会	1955年6月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
7	「e-ニトロソレゾルシンモノメチルエーテルの比色用有機試薬としての応用について」	鳥居鉄也・他	『日本化学雑誌』第76巻第7号	日本化学会	1955年7月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
8	「東オングル島池水の化学組成について」	菅原健、鳥居鉄也	『南極資料』第7号	文部省	1959年7月31日	425～427頁/同誌の頁はCiNiiの表示通り。以下同誌の論文は全てCiNii公開の本文で確認した
9	「ケープタウン・南極リュッツォウホルム湾間の海水中の栄養塩類に関する化学的調査」(英文)	鳥居鉄也、吉田栄夫、平山善吉	『南極資料』第8号	文部省	1959年10月31日	482～498頁
10	「昭和基地の装備概況～とくに繊維製品を中心として」	鳥居鉄也	『化繊月報』第14巻第10号	日本化学繊維協会	1961年7月	CiNii(国立情報学研究所の学術論文検索サイト)で確認
11	「第4次越冬隊やまと山脈調査旅行報告(予報)～I一般報告」(英文)	鳥居鉄也	『南極資料』第13号	文部省	1961年10月	1075～1076頁
12	「The Cobalt Content of Human Body」	山県登、村田貞雄、鳥居鉄也	『Journal of Radiation Research』Vol.3, No.1	The Japan Radiation Research Society	1962年3月	4～8頁/ CiNiiで確認
13	「北極、南極の海洋化学/(＜特集＞海の化学)」	鳥居鉄也	『化学教育』第12巻第4号	日本化学会	1964年12月	440～447頁 CiNiiで公開有
14	『極地』第1号～第80号(通号表記を用いた。袋井市立浅羽図書館の所蔵が80号まで。以降の調査は未。編集発行人及び発行母体の理事長が鳥居のため、関係資料として掲げた。)	1～59号まで「編集兼発行人」=鳥居信平。60号以降は鳥居は発行母体の理事長。	—	財団法人日本極地研究振興会	昭和40年8月31日～平成17年3月10日(年2回発行)	浅羽図書館蔵。以下の『極地』掲載論文も同図書館所蔵資料で調査した。
15	「アメリカの水中観測室」	鳥居鉄也	『極地』第2号	財団法人日本極地研究振興会	昭和41年2月28日	44頁
16	「南極海およびインド洋海域における海水中の銅および亜鉛の含有」(英文)	鳥居鉄也・他	『日本海洋学会誌』第22巻第2号	日本海洋学会	1966年4月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
17	「南極 Victoria Land の Dry Valley 調査報告～1. 南極 Victoria Land の Miers Valley に産する Evaporite について」	鳥居鉄也、村田貞雄、吉田栄夫、小坂丈子、山県登	『南極資料』第27号	国立科学博物館	1966年12月20日	2109～2120頁
18	「南極大陸の現状と将来の展望」	鳥居鉄也	『都市銀行研修会講義集・第13回』	東京銀行協会	1967年	国会図書館OPAC・和図書索引で確認
19	「南極 Victoria Land の Dry Valley 調査報告～II. 調査の概要および湖の水温」(英文)	鳥居鉄也、山県登、長連英	『南極資料』第28号	国立科学博物館	1967年3月31日	2225～2238頁
20	「南極 Victoria Land の Dry Valley 調査報告～IV. 南極の菌類に関する研究～2. Vanda 湖の菌類相」(英文)	杉山純多、杉山佳子、飯塚広、鳥居鉄也	『南極資料』第28号	国立科学博物館	1967年3月31日	2247～2256頁
21	「南極 Victoria Land の Dry Valley 調査報告～V. 湖水の化学成分」(英文)	山県登、鳥居鉄也、村田貞雄	『南極資料』第29号	国立科学博物館	1967年8月31日	2339～2361頁
22	「南極 Victoria Land の Dry Valley 調査報告～VII. Ross 島と Ongul 島の池水の化学成分の比較」(英文)	山県登、鳥居鉄也、村田貞雄、綿抜邦彦	『南極資料』第29号	国立科学博物館	1967年8月31日	2368～2375頁

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社/発行元	発行年月日	掲載頁/備考
23	「福島紳隊員のこと」	鳥居鉄也	『極地』第7号	財団法人日本極地研究振興会	昭和43年6月30日	18~19頁
24	「第八次南極観測越冬隊記録<内陸調査>/『ふじ船上座談会』」	鳥居鉄也・他	『極地』第7号	財団法人日本極地研究振興会	昭和43年6月30日	24~27頁
25	「トピックス/プラトーにおける日米交歓パーティー」	鳥居鉄也	『極地』第7号	財団法人日本極地研究振興会	昭和43年6月30日	37頁
26	「南極隊の防寒装備」	鳥居鉄也	『化繊月報』第21巻第11号	日本化学繊維協会	1968年11月	7~14頁/CiNiiで確認
27	「昭和基地周辺に産する Evaporite ならびに黄色塩類の鉱物組成」	兼島清、鳥居鉄也、宮平勝昭	『南極資料』第33号	国立科学博物館	1968年12月28日	39~52頁
28	「第8次南極地域観測越冬隊報告~1967-1968」	鳥居鉄也	『南極資料』第33号	国立科学博物館	1968年12月28日	1~26頁
29	「極点旅行隊を迎えて」	鳥居鉄也	『極地』第8号	財団法人日本極地研究振興会	昭和44年2月28日	44~45頁
30	『南極大陸』	鳥居鉄也	—	(記載なし)	1969年3月	全40頁/ Webcat Plusで確認
31	「南極 Victoria Land の Dry Valley 調査報告~VIII. ドンファン池における南極石の産出—経年変化と晶出の条件」(英文)	鳥居鉄也、村田貞雄、小坂丈子、山県登	『南極資料』第37号	国立科学博物館	1970年3月10日	26~32頁
32	『南極』	鳥居鉄也編(監修・日本極地研究振興会)	—	毎日新聞社	昭和45年7月20日第1刷、同年11月30日第2刷	全205頁(図版解説共)/袋井図書館蔵書で確認
33	「新刊紹介/『南極』写真集発刊」	(記載なし)	『極地』第11号	財団法人日本極地研究振興会	昭和45年7月30日	44頁/鳥居編の本の紹介
34	『南極の氷』(科学ブックス8)	鳥居鉄也	—	共立出版	1971年1月	全160頁
35	「書架/書評/南極の氷/共立出版刊 鳥居鉄也著」	山県登	『極地』第12号	財団法人日本極地研究振興会	昭和46年1月31日	62頁
36	「南極 Victoria Land の Dry Valley 調査報告~IX. 1970-1971年の Dry Valley 調査—地球物理学的研究を中心とした—について(予報)」	吉田栄夫、田佐悠紀、森脇喜一、鳥居鉄也	『南極資料』第42号	国立科学博物館極地研究センター	1971年12月15日	65~87頁/ 現物にある「田佐」の表記は「由佐」の誤植と推定
37	『ペンギンのくに (科学のアルバム18)』	鳥居鉄也	—	あかね書房	(Webcat Plus の登録情報では1972年刊/袋井図書館蔵書には奥付に「1989年11月発行」とあるが、その下に「1972 printed in Japan」の記載も有)	全54頁/袋井図書館蔵書で確認 →恐らく72年が初版刊行で、以後再版されたものと推測する
38	「極地旅行の衣と食」	鳥居鉄也、川崎巖	朝日新聞社編『探検と冒険~朝日講座6』	朝日新聞社	1972年	国会図書館OPAC・和図書索引で確認
39	「ドライバレー地域の深層掘削計画」	鳥居鉄也	『極地』第15号	財団法人日本極地研究振興会	昭和47年8月30日	62~63頁
40	「南極 Victoria Land の Dry Valley 調査報告~X. 1971-1972年の Vanda 湖を中心とした地球物理および地球化学的調査について(予報)」	鳥居鉄也、由佐悠紀、中尾欣四郎、橋本丈夫	『南極資料』第45号	国立科学博物館極地研究センター	1972年11月21日	76~88頁
41	「南極隊が使用している装備~主として繊維製品について~/ (展望)」	鳥居鉄也	『繊維と工業』第5巻第11号	繊維学会	1972年11月	495~506頁/国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
42	『南極』	鳥居鉄也・他編	—	共立出版	1973年8月	全741頁/ Webcat Plusで確認
43	「DVDニュース」	鳥居鉄也	『極地』第17号	財団法人日本極地研究振興会	昭和48年8月30日	57~58頁
44	「うまかった南極の老魚/(ぶろむなあと)」	鳥居鉄也	『科学朝日』第34巻第3号	朝日新聞社	1974年3月	国会図書館OPAC・雑誌記事索引で確認
45	「ドライバレー掘削プロジェクト/(セミナー)」	鳥居鉄也	『学術月報』第27巻第7号	日本学術振興会	1974年10月	443~449頁 / CiNiiで確認
46	「ドライバレー掘削調1973-74年隊報告」	鳥居鉄也、中井信之、倉沢一、吉田栄夫、綿抜邦彦、大野正一、森川日出貴、中井紘一	『南極資料』第51号	国立極地研究所	1974年12月27日	67~98頁

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考
47	「南極～無騒音の世界/(講演)」	鳥居鉄也	『日本音響学会誌』第31巻第1号	日本音響学会	1975年1月1日	24～31頁
48	『Geochemical and geophysical studies of dry valleys, Victoria Land in Antarctica』	edited by Tetsuya Torii	—	National Institute of Polar Research	1975年	全89頁
49	『南極大陸』【地図資料】	鳥居鉄也編、原田美道監修	—	日本極地研究振興会	1975年	1枚/国会図書館OPAC・和図書索引で確認
50	「ドライバレー掘削プロジェクト第一回セミナー」	綿抜邦彦	『極地』第20号	財団法人日本極地研究振興会	昭和50年1月30日	40～43頁/鳥居有
51	「Haymaker 博士の憶い出」	白木博次	『極地』第21号	財団法人日本極地研究振興会	昭和50年7月30日	1頁/鳥居有
52	「南極の温泉～火山活動を中心として」	鳥居鉄也	『温泉科学』第26巻第2・3号	日本温泉科学会	1975年11月	59～73頁/ CiNiiで確認
53	「南極の資源調査はどこまで/(そこが聞きたい)」	鳥居鉄也、大町北一郎	『科学朝日』第36巻第7号	朝日新聞社	1976年7月	70～75頁/ CiNiiで確認
54	「資源を秘めた南極大陸」	鳥居鉄也	『科学朝日』第36巻第7号	朝日新聞社	1976年7月	7～15頁/ CiNiiで確認
55	「ドライバレー掘削調 1974・75 年隊報告」	神沼克伊、鳥居鉄也、倉沢一、加藤喜久雄、和栗修	『南極資料』第56号	国立極地研究所	1976年7月30日	54～69頁
56	「オーロラの下で徹夜マージャン」(講演要約)	鳥居鉄也	『ファイナンス』第12巻第5号	大蔵財務協会	1976年8月	21～25頁
57	「南極地球化学シンポジウムの話題」	倉沢一	『極地』第24号	財団法人日本極地研究振興会	昭和52年1月30日	32～37頁/鳥居有
58	「Introduction」(英文)	Tetsuya Torii & Kunihiko Watanuki	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	巻頭ii頁
59	「南極塩湖の化学的特徴」	鳥居鉄也、山県登、中谷周、村田貞雄	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	9～19頁
60	「ドライバレー地域の塩湖の栄養塩分布について」	中谷周、鳥居鉄也、山県登	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	20～31頁
61	「ぬるめ池の2層構造について」	佐野方昂、中井信之、鳥居鉄也	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	63～68頁
62	「南極オアシスにおける堆積物、水試料中の微量元素の分布に関する地球化学的研究～その1. DVD13 コア試料およびベストフォールド・ヒルズの堆積物中のRaの含有」(英文)	堀内公子、鳥居鉄也、村上悠紀雄	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	69～80頁
63	「ぬるめ池の微量金属の鉛直分布」	佐野方昂、中井信之、鳥居鉄也	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	108～115頁
64	「ドンファン湖盆の塩収支」(英文)	鳥居鉄也、山県登、小坂丈予、村田貞雄	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	116～130頁
65	「昭和基地周辺に生息する生物の生体内金属分布」	三島昌夫、山県登、鳥居鉄也	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	145～153頁
66	「南極昭和基地における大気中窒素酸化物(NOx)の連続測定」(英文)	安孫子勤、鳥居鉄也	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	237～243頁
67	「南極の塩湖の同位体地球化学的研究」(要旨のみ)	松葉谷浩、酒井均、鳥居鉄也	『南極資料』第58号	国立極地研究所	1977年3月30日	276頁
68	『南極大陸～南極観測20年の歩み～南極展』	鳥居鉄也・編	—	日本極地研究振興会	1977年7月	全48頁/ Webcat Plusの表示通り
69	「1976-77年マクマード周辺調査記」	神沼克伊	『極地』第25号	財団法人日本極地研究振興会	昭和52年7月30日	12～18頁/鳥居有
70	「南極湖沼の地球化学的特徴」(英文)	綿抜邦彦、鳥居鉄也、村山治太、平林順一、佐野方昂、安孫子勤	『南極資料』第59号	国立極地研究所	1977年8月30日	18～25頁

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社/発行元	発行年月日	掲載頁/備考
71	「1976-1977年マクマードサウンド地域国際共同観測報告」	神沼克伊、鳥居鉄也、矢内柱三、松本源喜、田中良樹	『南極資料』第60号	国立極地研究所	1977年11月30日	132~146頁
72	「南極のサムライたち」	高木四郎	『極地』第26号	財団法人日本極地研究振興会	昭和53年1月30日	30~36頁/「鳥居センセ」有
73	「南極の魚釣り」	鳥居鉄也	文化出版局編『NHK「趣味の手帳」より釣りと私』所収	文化出版局	昭和53年3月20日	65~77頁/袋井図書館蔵書で確認
74	「乗鞍・立山・戸田訓練の思い出」	朝比奈菊雄	『極地』第27号	財団法人日本極地研究振興会	昭和53年7月15日	2~6頁/鳥居有
75	「第3回南極地質・地球物理シンポジウム」	神沼克伊	『極地』第27号	財団法人日本極地研究振興会	昭和53年7月15日	47~49頁/鳥居有
76	『南極の水』	鳥居鉄也	—	共立出版	1979年	全160頁
77	「南極地学総合シンポジウムの反省」	神沼克伊	『極地』第28号	財団法人日本極地研究振興会	昭和54年1月30日	36~39頁/鳥居有
78	「中国講演旅行」	山県登	『極地』第30号	財団法人日本極地研究振興会	昭和55年1月30日	41~42頁/鳥居有
79	「齋藤尚一氏のご寄付」	(記載なし)	『極地』第31号	財団法人日本極地研究振興会	昭和55年7月30日	39頁/鳥居有
80	「中華人民共和国国家海洋局極地考察訪日視察団」	鳥居鉄也	『極地』第31号	財団法人日本極地研究振興会	昭和55年7月30日	59~60頁
81	「うまかった南極の老魚」	鳥居鉄也	『魚~自然読本』所収	河出書房新社	1980年8月	東京都立図書館web検索で確認
82	「南極観光飛行の遭難」	鳥居鉄也	『極地』第32号	財団法人日本極地研究振興会	昭和56年1月10日	46~47頁
83	「昭和基地周辺の湖沼水のモニタリング」(英文)	村山治太、綿抜邦彦、中谷周、久保田秀紀、鳥居鉄也	『南極資料』第73号	国立極地研究所	1981年9月30日	113~123頁
84	『南極外史』	鳥居鉄也、原田美道、鈴木康・編	—	日本極地研究振興会発行(発売:丸善)	1981年11月25日	全279頁/鳥居は「福島紳君のこと」「あとがき」を執筆
85	『南極外史』の刊行のお知らせ	(記載なし)	『極地』第34号	財団法人日本極地研究振興会	昭和56年12月25日	41頁/鳥居有
86	『南極観測二十五年史』	文部省編	—	文部省発行	昭和57年1月20日	全532頁/鳥居有/袋井図書館蔵
87	『故長谷川喜三郎氏遺稿集~山梨の史話~』	山梨町三育会編	—	山梨町三育会	昭和57年2月	73頁に鳥居有、信平も有/袋井図書館蔵
88	「1980-1981年ドライバー地域調査報告」	中谷周、鳥居鉄也、長連英、和田英太郎、松本源喜	『南極資料』第74号	国立極地研究所	1982年2月27日	324~329頁
89	「1976-77年夏期における南極マクマードオアシスの塩湖の栄養塩類」(英文)	松本源喜、田中良樹、鳥居鉄也	『南極資料』第74号	国立極地研究所	1982年2月27日	109~118頁
90	「南極バンダ湖の微量金属の分布とその起源」(英文)	増田宣泰、西村雅吉、鳥居鉄也	『南極資料』第75号	国立極地研究所	1982年3月31日	25~36頁
91	「ニュージーランドの南極観測25周年式典に参列して」	鳥居鉄也	『極地』第35号	財団法人日本極地研究振興会	昭和57年7月31日	19~20頁
92	「中国の塩湖とドライバー」	中尾欣四郎	『極地』第35号	財団法人日本極地研究振興会	昭和57年7月31日	21~24頁/鳥居有
93	「中国科学者とドライバーを歩く」	由佐悠紀	『極地』第35号	財団法人日本極地研究振興会	昭和57年7月31日	19~20頁/鳥居有
94	「日本人のつけた南極の地名」	楠 宏	『極地』第35号	財団法人日本極地研究振興会	昭和57年7月31日	57~59頁/鳥居にちなんだ「Torii Glacier」(トリー氷河)の紹介有
95	「インド隊南極大陸へ上陸か」	鳥居鉄也	『極地』第35号	財団法人日本極地研究振興会	昭和57年7月31日	60~61頁
96	「ゴットランド号の遭難」	鳥居鉄也	『極地』第35号	財団法人日本極地研究振興会	昭和57年7月31日	62~63頁
97	「1981-1982年ドライバー地域調査報告」	村井治太、由佐悠紀、松本源喜、鳥居鉄也	『南極資料』第79号	国立極地研究所	1983年9月30日	134~144頁

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考
98	「ドンファン湖盆の塩類の化学成分の起源について」(英文)	富山千里、北野康、鳥居鉄也	『南極資料』第79号	国立極地研究所	1983年9月30日	11～29頁
99	「一枚一枚パールを脱ぐ南極大陸」	(対談)鳥居鉄也、小川邦夫	『通産ジャーナル』第16巻第9号	(記載なし)	1983年12月	76～84頁/ CiNiiで確認
100	「自然に親しむ」	鳥居鉄也	『作者・二十四名』、上山義雄・編『道8 昭和の一人一話集』所収	発行所:中統教育図書(但し「非売品」)	昭和59年6月21日	121～126頁/袋井図書館蔵書で確認
101	『二十年のあゆみ』(奥付の書名は『財団法人日本極地研究振興会20年のあゆみ』)	鳥居鉄也＝編集責任者	—	財団法人日本極地研究振興会	1984年10月31日(非売品)	全56頁/袋井図書館蔵
102	『日本南極地域観測隊総員集合～第1次隊から第25次隊まで』	大瀬正義＝編集責任者	—	財団法人日本極地研究振興会	昭和59年11月8日	全85頁/鳥居有/袋井図書館蔵
103	「南極と静電気(静電気コンコース)」	鳥居鉄也	『静電気学会誌』第9巻第1号	静電気学会	1985年1月	6～7頁/ CiNiiで確認
104	「中国首次南大洋及び南極洲考察」	鳥居鉄也	『極地』第40号	財団法人日本極地研究振興会	昭和60年2月8日	47頁
105	『南極大陸～南極観測25年の歩み』	鳥居鉄也・他編	—	財団法人日本極地研究振興会	1985年3月	全48頁/ Webcat Plusで確認
106	「鳥居ラボオープン」	中谷周	『極地』第41号	財団法人日本極地研究振興会	昭和60年7月31日	39頁/鳥居有
107	「スコット基地の南極条約25周年式典」	鳥居鉄也	『極地』第41号	財団法人日本極地研究振興会	昭和60年7月31日	43～44頁
108	「1983-84年南極マクマードサウンド地域の地球化学的調査」	松本源喜、鳥居鉄也、川野田実夫、長連英、小畑芳春	『南極資料』第86号	国立極地研究所	1985年9月14日	108～118頁
109	「昭和基地周辺の湖沼における栄養塩およびDOCの鉛直分布」(英文)	福井深、鳥居鉄也、岡部史郎	『南極資料』第86号	国立極地研究所	1985年9月14日	28～35頁
110	「身近になった南極/(巻頭言)」	鳥居鉄也	『化学教育』第34巻第2号	日本化学会	1986年4月20日	97～98頁/ CiNiiで確認・本文公開
111	『南極海～市原基写真集』	市原基(写真)、鳥居鉄也(文)	—	岩波書店	1986年7月	Webcat Plusで確認。
112	「低温設営工学の発達」	鳥居鉄也	『鐵と鋼』第72巻第9号	日本鐵鋼協會	1986年7月1日	1255～1262頁/ CiNiiで確認
113	「それぞれの南極」	朝比奈菊雄	『極地』第43号	財団法人日本極地研究振興会	昭和61年8月30日	1頁/鳥居有
114	「南極2000」	鳥居鉄也	『極地』第46号	財団法人日本極地研究振興会	昭和62年2月10日	1頁
115	「南極ペンダ湖における細菌の細胞サイズと現存量の垂直分布」	近田俊文、滝井進、福井学、楠岡泰、松本源喜、中谷周、鳥居鉄也	『南極資料』第31巻第2号(1986年から巻号表記に変更されている)	国立極地研究所	1987年7月31日	109～117頁
116	「ドライバレー地域調査報告1984-1985」	小村和久、中谷周、森本隆夫、鳥居鉄也	『南極資料』第31巻第3号	国立極地研究所	1987年11月30日	230～237頁
117	「南極南ビクトリアランドのラビリンスにおける池水中の全有機炭素」(英文)	松本源喜、綿抜邦彦、鳥居鉄也	『南極資料』第31巻第3号	国立極地研究所	1987年11月30日	171～176頁
118	「瑞穂ヶ丘から南極へ」	鳥居鉄也(30回) 【鳥居は八高第30回卒業生】	『わが友若き旅人よ～八高八十年祭記念誌』所収	八高創立八十年祭実行委員会編集発行	1988年10月10日	136～139頁/袋井図書館蔵書で確認
119	『広報ふくろい縮刷版(第1巻)』	地域振興課広報公聴係・編	—	袋井市役所	昭和63年5月15日	538頁に「鳥居越冬隊長の壮行会を挙げる」(『広報ふくろい』昭和41年12月1日、1頁)の記事有り/袋井図書館蔵
120	「南極南ビクトリアランドのラビリンスにおける池水中の塩起因:リチウムとほう素からの考察」(英文)	高松信樹、松本源喜、中谷周、鳥居鉄也	『南極資料』第32巻第2号	国立極地研究所	1988年7月30日	103～112頁
121	「南極南ビクトリアランドのドライバレー地域における塩湖のストロンチウム」	三好登和子、今橋正征、鳥居鉄也	『南極資料』第32巻第2号	国立極地研究所	1988年7月30日	113～128頁
122	「木村健二郎先生のご逝去を悼む」	鳥居鉄也	『温泉科学』第38巻第4号	日本温泉科学会	1988年10月	巻頭2頁/ CiNiiで確認
123	「茅誠司先生の思い出」	鳥居鉄也	『極地』第48号	財団法人日本極地研究振興会	平成元年2月20日	5～7頁

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考
124	「南極ドライバレー地域におけるエアロゾルの化学成分濃度」	中谷周、増田宣泰、鳥居信也、鳥居鉄也	『南極資料』第33巻第1号	国立極地研究所	1989年3月30日	10～16頁
125	「白骨温泉地域における自然電位および土壤空气中のラドン測定による新源泉の探査」	大橋収司、村田貞雄、鳥居鉄也	『温泉科学』第40巻第3号	日本温泉科学会	1990年1月	71～79頁/ CiNiiで確認
126	『こおりのくにのペンギン』	こわせたまみ(構成・文)、太田次郎(監修)、鳥居鉄也(指導)	—	チャイルド本社	1990年2月	全26頁/東京都立図書館 web 検索で確認
127	「編集会議にまるわる思い出」	近野不二男	『極地』第50号	財団法人日本極地研究振興会	平成2年2月28日	50頁/鳥居有
128	「ロス海周辺の史跡」	鳥居鉄也	『極地』第51号	財団法人日本極地研究振興会	平成2年8月20日	2～10頁
129	「村上悠紀雄先生のご逝去を悼む」	鳥居鉄也	『温泉科学』第41巻第2号	日本温泉科学会	1991年1月	巻頭2頁/ CiNiiで確認
130	「北極・南極を語る夕べ」	楠 宏	『極地』第52号	財団法人日本極地研究振興会	平成3年3月1日	50～51頁/鳥居有
131	「日本極地研究振興会の後援事業～その1. 研究助成金制度の現況～」	鳥居鉄也	『極地』第52号	財団法人日本極地研究振興会	平成3年3月1日	67～68頁
132	「南極ロス海へのクルーズ～フロンティア・スピリット号乗船記～」	鳥居鉄也	『極地』第53号	財団法人日本極地研究振興会	平成3年8月31日	3～11頁
133	「十周年を迎えた中国の南極観測」	鳥居鉄也	『極地』第53号	財団法人日本極地研究振興会	平成3年8月31日	11頁
134	『南極～Antarctica notes』	鳥居鉄也・楠 宏	—	フロンティア・クルーズ・ジャパン	1992年	全82頁/ Webcat Plusで確認
135	「個人会費値上げのお願い」	鳥居鉄也	『極地』第56号	財団法人日本極地研究振興会	平成5年3月1日	41頁
136	「トムソン氏勲三等瑞宝章叙勲」	鳥居鉄也	『極地』第58号	財団法人日本極地研究振興会	平成6年3月1日	3～5頁
137	「食糧座談会Ⅱ～冷凍パン、冷凍パン生地と旅行食～」	鳥居鉄也・他	『極地』第58号	財団法人日本極地研究振興会	平成6年3月1日	36～42頁
138	『南極大陸～南極観測の歩み(財団法人日本極地研究振興会30周年記念)』	(記載なし。但し発行人の名義が鳥居鉄也)	—	財団法人日本極地研究振興会	1994年4月19日	全48頁/袋井図書館蔵書で確認
139	「長い苦労と信念が天に届いた」	鳥居鉄也	白川義員『南極大陸 白川義員写真集』所収	南極大陸写真展事務局	平成6年6月16日	82～85頁/袋井図書館蔵書で確認
140	『JARE DATA REPORT No.199 (GEO-CHEMISTRY2) ～Japanese Geochemical Data in the McMurdo Dry Valleys and on Ross Island, Antarctica』	Tetsuya TORII (Editor-in-Chief)	—	NATIONAL INSTITUTE OF POLAR RESEARCH	AUGUST 1994	全294頁/袋井図書館蔵書で確認
141	「財団創立30周年記念講演会開催のお知らせ」	(記載なし)	『極地』第59号	財団法人日本極地研究振興会	平成6年8月20日	62頁
142	「山田明吉理事を偲ぶ」	鳥居鉄也	『極地』第60号	財団法人日本極地研究振興会	平成7年3月15日	4頁
143	「ドライバレー地域の地学調査を振り返る」	鳥居鉄也	『極地』第60号	財団法人日本極地研究振興会	平成7年3月15日	20～24頁
144	「日本極地研究振興会創立30周年記念パーティー」	(記載なし)	『極地』第60号	財団法人日本極地研究振興会	平成7年3月15日	58頁/鳥居有
145	「創立30周年記念講演会開催報告」	鳥居鉄也	『極地』第60号	財団法人日本極地研究振興会	平成7年3月15日	59～60頁
146	「(巻頭言)理事長就任にあたって」	鳥居鉄也	『極地』第61号	財団法人日本極地研究振興会	平成7年8月15日	1頁
147	「南極の魚釣り」	鳥居鉄也	伊藤桂一・他編『集成日本の釣り文学・第三巻・まぼろしの魚』所収	作品社	1995年10月10日	234～242頁/袋井図書館蔵書で確認
148	「(新刊紹介)北極・南極～極地の自然環境と人間の営み～」	鳥居鉄也	『極地』第63号	財団法人日本極地研究振興会	平成8年8月10日	23頁
149	『ふしぎ大陸 南極展』 (注・袋井図書館の登録情報では漢字で「不思議」と登録されているが、平仮名が正しい)	ふしぎ大陸南極展 図録編集委員会・ 編(注・鳥居は同展 示会の実行委員の 一人として記載有)	(注・袋井図書館登録 情報では鳥居が本書 解説を担当とされて いるが、現物を見る 限り、その事実は 確認できない)	国立科学博物館	1997年	全111頁+奥付等 /袋井図書館蔵書 で確認

No.	書名又は記事題名	著者等	掲載誌名	出版社／発行元	発行年月日	掲載頁／備考
150	「極地の地球化学」	鳥居鉄也	藤原鎮男編『地球化学の発展と展望』	東海大学出版会	1997年2月	東京都立図書館web検索で確認
151	「国際北極研究センター発足の紹介」	(記載なし)	『極地』第64号	財団法人日本極地研究振興会	平成9年2月10日	19頁/鳥居宛の私信を紹介
152	「(座談会)ドームふじ観測拠点第36次越冬座談会—I～厳しい環境下での掘削をめぐって～」	鳥居鉄也・他	『極地』第64号	財団法人日本極地研究振興会	平成9年2月10日	42～49頁
153	「(座談会)ドームふじ観測拠点第36次越冬座談会—II～厳しい環境下での生活～」	鳥居鉄也・他	『極地』第65号	財団法人日本極地研究振興会	平成9年8月1日	39～49頁
154	「“南極賞”の創設と第1回受賞」	(記載なし)	『極地』第66号	財団法人日本極地研究振興会	平成10年3月10日	3～4頁/鳥居有
155	「南極の地名の話～最近の国際的課題に関連して～」	吉田栄夫	『極地』第68号	財団法人日本極地研究振興会	平成11年3月1日	55～59頁/鳥居にちなんだ「トリイ氷河」有
156	「南極の新天地に日本人科学者3名の名前が登場」	(記載なし)	『極地』第69号	財団法人日本極地研究振興会	平成11年8月10日	18頁/鳥居にちなんだ「Mount Torii(鳥居山)」有
157	『三十五年のあゆみ』(奥付の書名は『財団法人日本極地研究振興会三十五年のあゆみ』)	鳥居鉄也＝編集責任者	(『極地別冊』第35巻第2号)	財団法人日本極地研究振興会	2000年3月10日	全54頁/鳥居は「序にかえて」「35年の歴史から」を執筆/袋井図書館蔵書で確認
158	「本号特集の編集にあたって」	鳥居鉄也	『極地』第72号	財団法人日本極地研究振興会	平成13年3月1日	64頁
159	「南極探検の先駆者・鳥居鉄也資料コーナー」(リーフレット)	袋井市立図書館	—	袋井市立図書館	平成15年【下の注記を参照】	A4版1枚の表裏に印刷したものを三つ折にしたリーフレット/No.168のファイルにも収蔵有
160	「鳥居鉄也氏寄贈資料目録」(プリント綴資料)	袋井市立図書館	—	袋井市立図書館	平成15年【同上】	全11頁/No.168のファイルにも収蔵有
161	『南極大陸(財団法人日本極地研究振興会創設40周年記念)』	(記載なし。但し発行人の名義が鳥居鉄也)	—	財団法人日本極地研究振興会	2004年7月28日	全48頁/袋井図書館蔵/No.168のファイル内に収蔵
162	「財団40年の歩みを振り返って」	鳥居鉄也	『極地』第80号	財団法人日本極地研究振興会	平成17年3月10日	3～4頁
163	「財団法人日本極地研究振興会創立40周年を祝して」	舟橋正輝	『極地』第80号	財団法人日本極地研究振興会	平成17年3月10日	5～6頁/鳥居有
164	「財団法人日本極地研究振興会創立40周年記念祝賀会」	事務局	『極地』第80号	財団法人日本極地研究振興会	平成17年3月10日	74～75頁/鳥居有
165	『南極とともに～地球科学者として』	鳥居鉄也	—	私家版(製作・岩波出版サービスセンター)	2007年7月7日	全379頁/袋井図書館蔵書で確認
166	「鳥居鉄也先生のご逝去を悼む」	井上源喜	『地球化学』第42巻第4号	日本地球化学会	2008年	巻頭v～vii頁/複写物小栗所蔵
167	「名誉会員 鳥居鉄也先生のご逝去を悼む」	由佐悠紀	『温泉科学』第58巻第3号	日本温泉科学会	2008年12月	188～190頁/複写物小栗所蔵
168	「南極資料/極地研NEWSNo.171～/極No.1～」(袋井図書館独自のファイルの名称)	袋井図書館・編	(他の収録内容→南極大陸地図2003年、No.159～161の資料)	—	2009年9月(=袋井図書館OPAC上の登録情報)	ファイル1冊/袋井図書館蔵
169	「鳥居越冬隊長への手紙」	袋井市立山名小学校	—	(未公刊の自筆手紙文)	(記載なし)	1袋/A4版大の茶封筒に児童達の手紙が多数入れられている/袋井図書館蔵

以上

(注) No.159、160の資料の発行時期について補足しておく。No.159のリーフレットは、平成17年(2005年)に袋井市立袋井図書館2階展示室で鳥居鉄也に関する展示会が開かれた際に配布されていた資料で、小栗は同年7月に会場でこれ入手した。しかしこれより2年前の平成15年(2003年)11月に「鳥居鉄也資料コーナー」が同図書館に設置されたこと(同図書館HP「沿革」参照)、またこの資料には平成17年の合併による新袋井市誕生以前の古い市章と「袋井市立図書館」(合併により現在は「袋井市立袋井図書館」に名称変更)の名前が記載されていることから、この資料は合併前、平成15年の資料コーナー設置時に作られたものと推測される。No.160の資料についても、小栗がこれ入手した経緯は上と同じ。プリントをステープラーで綴じただけの資料で、この目録にも「袋井市立図書館」の記載があることから、上と同じ時期に作られたものと推測される。ここには鳥居氏が袋井市立図書館に寄贈した南極の石や南極に関する資料の目録と鳥居のプロフィール等が掲載されている。